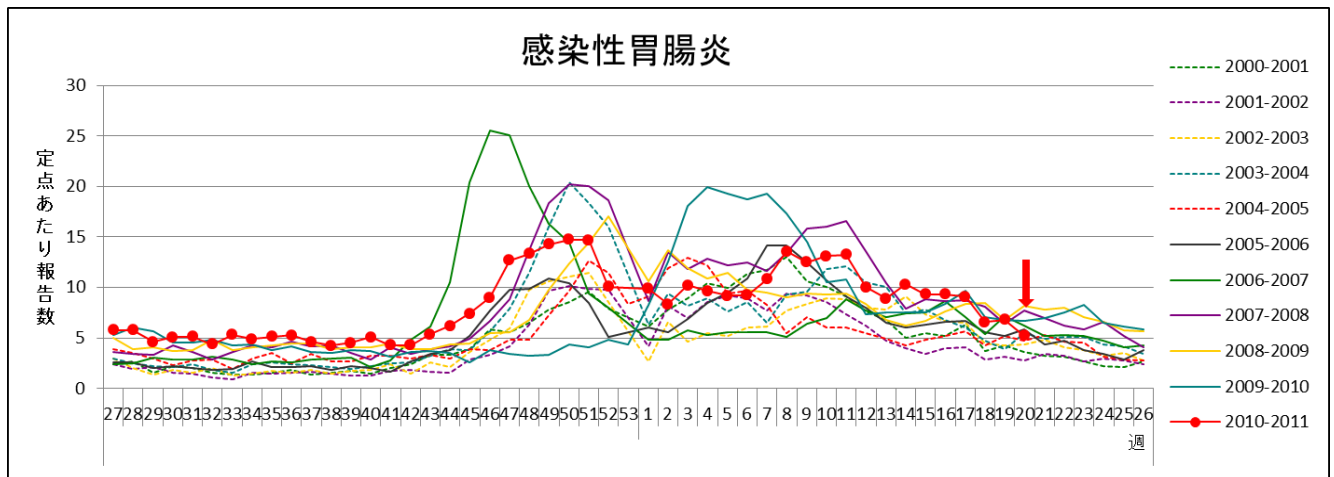


# 感染性胃腸炎情報

2011 年 第 20 週 (5 月 16 日 ~ 5 月 22 日)

第 20 週 (5 月 16 日 ~ 5 月 22 日) の、県内の定点医療機関 (54 定点) からの患者数は、前週より減少しました。(367 → 283 人 定点あたり 6.80 → 5.24 人)。県内ほぼ全域で患者数が減少し、前週増加していた岡山市 (定点あたり 7.00 → 3.57 人)、倉敷市 (定点あたり 6.00 → 4.73 人) でも発生が減りました。

感染性胃腸炎は、例年初冬から増加し始め 12 月頃に一度ピークができた後、春にもう一つなだらかな山ができ、その後初夏までだらだらと続くという流行パターンをとっています。さまざまな病原体が原因となりますので、ひきつづき外出後は手洗いをを行い、感染予防を心がけましょう。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年27週 ~ 今年26週を1 シーズンとして、 グラフを作成しています。

## 岡山県地区別 感染症マップ 感染性胃腸炎 2011 年 20 週

20 週 5/16 ~ 5/22

19 週 5/9 ~ 5/15

18 週 5/2 ~ 5/8

17 週 4/25 ~ 5/1



### 感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。